

教科	音楽	履修学年	第3学年	指導時間	35 単位時間	担当者	片平 真司
使用教科書	中学生の音楽 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	補助教材	歌集「私たちの合唱曲集広島県版」(教育芸術社)、ワーク「音楽のパートナー」(正進社)、 アルトリコーダー(ヤマハ)				
目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う						
評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫		音楽表現の技能		鑑賞の能力	
趣旨	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。		創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
評価資料	授業観察、評価カード、実技テスト、定期テスト、評価カード	授業観察、ワークシート、実技テスト、定期テスト		授業観察、実技テスト、レポート、定期テスト		授業観察、ワークシート、紹介文、定期テスト	

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
4	○歌詞と音楽の美しさを味わって歌おう。 ・花 ○曲の感じにあった声で歌おう ・L-O-V-E	7	1 歌詞の内容を理解して歌い方を工夫する。 2 旋律のリズムの関係や強弱の変化を確かめる。 3 詩や曲が作られた背景を理解して曲にこめられた思いを知り、豊かな表現ができるようにする。 ・歌唱「花」(リズム、旋律、強弱) 1 曲の感じにあった声やリズムで歌う。 2 調の変化を感じ取りながら歌う。 3 曲想記号によって生み出される効果を感じ取る。 ・歌唱「L-O-V-E」(リズム、旋律、音色) ・リズムアンサンブル	音楽表現の創意工夫	・その曲を特徴づけている要素に関心を持ち、主体的に音取りをしている。 ・姿勢や発音に気をつけ意欲的に歌っている。 ・曲の構成やまとまり、時代背景と曲との関係などを積極的に聴き取って発言や文で表現しようとしている。
			音楽表現の技能		・体でリズムをとって歌うなど、拍やリズムの特徴を生かして歌うことが出来る。 ・明るい響きのある声で歌うことが出来る。 ・曲の構成やまとまりを生かして歌で表現できる。
			鑑賞の能力		・音の重なり、楽器の組み合わせによる響きの変化を感じとって言葉で表すことができる。 ・曲が出来た時代背景を知り、曲の特徴との関係を感じ取って鑑賞している。
5	○作曲家が曲にこめた思いを知ろう ・プルトバ(モルダウ) ○コードとハーモニーの響きを知ろう。 「上を向いて歩こう」	5	1 情景が音楽でどのように表現されているかを聴きとる。 2 曲が生まれた背景を理解し作曲者の思いを感じる。 3 オーケストラの響きを味わう。 ・鑑賞「プルトバ(モルダウ)」(旋律、テクスチュア、速度、音色) 1 コードやハーモニーによる響きの違いを感じ取る。 ・歌唱「上を向いて歩こう」(旋律、テクスチュア) ・リズムアンサンブル	音楽への関心・意欲・態度	・情景が音楽でどのように表現されているかを聴いたり、オーケストラの響きを味わうことに意欲的である。 ・旋律を支える伴奏に耳をむけ、コードやハーモニーによって曲の感じが変化することに興味をもっている。
			音楽表現の創意工夫		・コードやハーモニーの響きの違いを聴きとり、それにあつた表現を考えることができる。 ・循環コードなど基本的なコード進行を利用して、それにあつた旋律を考えることができる。
			音楽表現の技能		・ジャズの独特の響きや歌い方を感じとり、それにあつた旋律の歌い方ができる。 ・コード進行にあつた旋律を作り、それをリコーダーで演奏するなどして発表できる。
6	○作曲者が曲にこめた思いを知ろう ・プルトバ(モルダウ) ○コードとハーモニーの響きを知ろう。 「上を向いて歩こう」	5	1 情景が音楽でどのように表現されているかを聴きとる。 2 曲が生まれた背景を理解し作曲者の思いを感じる。 3 オーケストラの響きを味わう。 ・鑑賞「プルトバ(モルダウ)」(旋律、テクスチュア、速度、音色) 1 コードやハーモニーによる響きの違いを感じ取る。 ・歌唱「上を向いて歩こう」(旋律、テクスチュア) ・リズムアンサンブル	音楽への関心・意欲・態度	・情景が音楽でどのように表現されているかを聴いたり、オーケストラの響きを味わうことに意欲的である。 ・曲が生まれた背景を理解し、作曲者の思いを感じ取りながら総合的に聴き深めることができる。
			音楽表現の創意工夫		・コードやハーモニーの響きの違いを聴きとり、それにあつた表現を考えることができる。 ・循環コードなど基本的なコード進行を利用して、それにあつた旋律を考えることができる。
7	○作曲者が曲にこめた思いを知ろう ・プルトバ(モルダウ) ○コードとハーモニーの響きを知ろう。 「上を向いて歩こう」	1	1 情景が音楽でどのように表現されているかを聴きとる。 2 曲が生まれた背景を理解し作曲者の思いを感じる。 3 オーケストラの響きを味わう。 ・鑑賞「プルトバ(モルダウ)」(旋律、テクスチュア、速度、音色) 1 コードやハーモニーによる響きの違いを感じ取る。 ・歌唱「上を向いて歩こう」(旋律、テクスチュア) ・リズムアンサンブル	音楽への関心・意欲・態度	・情景が音楽でどのように表現されているかを聴いたり、オーケストラの響きを味わうことに意欲的である。 ・曲が生まれた背景を理解し、作曲者の思いを感じ取りながら総合的に聴き深めることができる。
			音楽表現の創意工夫		・コードやハーモニーの響きの違いを聴きとり、それにあつた表現を考えることができる。 ・循環コードなど基本的なコード進行を利用して、それにあつた旋律を考えることができる。
8	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲	7	1 響きのある豊かな発声をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチュア、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチュア、強弱、速度、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・響きのある声づくりのための姿勢や発声に意欲的に取り組むことができる。 ・課題にあつた目標を立てることができ、音取りやパート練習を頑張ることができる。
			音楽表現の創意工夫		・歌詞の内容や曲想から歌に対するイメージを広げ、歌唱表現を工夫することができる。 ・曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現の工夫ができる。
9	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲	7	1 響きのある豊かな発声をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチュア、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチュア、強弱、速度、音色)	音楽への関心・意欲・態度	・響きのある声づくりのための姿勢や発声に意欲的に取り組むことができる。 ・課題にあつた目標を立てることができ、音取りやパート練習を頑張ることができる。
10	○合唱の喜びを体得しよう ・課題曲 ・自由曲	7	1 響きのある豊かな発声をする。 2 パートの役割や旋律の重なり方の特徴を感じ取って合唱する。 3 曲想を感じ取って、速度や強弱の変化を生かした表現を工夫する。 ・合唱コンクール課題曲(テクスチュア、強弱、音色) ・合唱コンクール自由曲(テクスチュア、強弱、速度、音色)	音楽表現の創意工夫	・歌詞の内容や曲想から歌に対するイメージを広げ、歌唱表現を工夫することができる。 ・曲想を感じ取って速度や強弱の変化を生かした表現の工夫ができる。
			音楽表現の技能		・響きのある豊かな声で合唱し、曲想や全体の響きを感じ取った歌唱表現ができる。 ・パートの特徴と役割を感じ取って、求められる歌い方や声の発声で歌唱しようとしている。

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
			言語活動 ・強弱や速度また曲想など曲にあった歌い方をするための工夫を、楽譜や歌詞に書きこむ。 ・合唱活動を通して目標や課題を見つけ、それを伝えあったり、自己評価を書く。	鑑賞の能力	・響きのある声や歌い方の違いについて、聴きあい批評することができる。 ・合唱曲の歌詞や背景を理解して総合的に聴くことができる。
11	○曲の背景を知ろう ・「ワレム」 ・「エチュード」 ・「新世界より」 ・「春の祭典」	6	1 楽曲の背景を知って名曲を味わう。 2 曲の特徴や良さ、聴きどころを感じ取り、プレゼンテーションする。 ・鑑賞「レクイエムより涙の日」 ・鑑賞「エチュード革命」 ・鑑賞「交響曲第9番「新世界より」」 ・鑑賞「バレエ音楽「春の祭典」」 (リズム、旋律、強弱、速度、音色) 1 リコーダーの旋律の演奏の仕方、重なり方のバランスを考え、演奏方法を工夫する。 ・器楽「リコーダーアンサンブル曲」	音楽への関心・意欲・態度	・オーケストラの多彩な音色、場面による音楽の変化などに積極的に聴こうとしている。 ・歌詞を朗読し、込められた思いを感じ取ろうとしている。 ・美しく豊かな音で楽器を吹こうと意欲を持ち、練習にまじめに取り組んでいる。
12	○リコーダーで豊かな表現を目指そう。 ・リコーダーアンサンブル曲			音楽表現の創意工夫	・歌詞に込められた思いや情景を感じ取って表現の工夫をすることができる。 ・言葉の抑揚を生かして音楽的にまとまりのある旋律を作ることができる。
	期末テスト	1		音楽表現の技能	・各楽器の特性を生かして、美しく豊かな音で表現する技能を身に付けている。 ・旋律の歌い方を言葉の発音や強弱などに関わらせながら表現豊かに歌うことができる。
		2学期小計 (27)	言語活動 ・色々な曲を聴き比べることによって曲の特徴や良さ、聴きどころを感じ取り、それをプレゼンテーションする。	鑑賞の能力	・オーケストラの多彩な音色を味わい、楽曲の場面による音楽の変化を理解して聴いている。 ・イメージをもたらす音楽の諸要素を感じ取り、映画音楽の紹介文を書くことができる。
1	○日本の伝統芸能 ・「能「羽衣」」 ・「雅楽「越天楽」	5	1 各楽器の音色や役割を感じ取り、重なり方や速度の変化など日本独自の特徴に気づく。 2 異なる場面の鑑賞比較を通して、声の感じや楽器の音色の特徴、速さ、また重なり方などに気づく。 ・鑑賞「能「羽衣」」 ・鑑賞「雅楽「越天楽」」 1 歌詞の内容を理解して歌い方を工夫する。 2 強弱の変化の生み出す効果を感じ取って歌う。 3 詩や曲が作られた背景を理解して曲に込められた思いを知る。 ・歌唱「早春賦」	音楽への関心・意欲・態度	・能や雅楽の音に興味や関心をもち、意欲的に鑑賞したり演奏しようとしている。 ・日本やアジアの諸民族の音楽に関心をもち、その特徴を意欲的に感じ取ろうとしている。
	○歌詞にこめられた思いを感じて歌おう。 ・「早春賦」 ・「仰げば尊し」			音楽表現の創意工夫	・詩や曲が作られた背景を理解して、曲にこめられた思いを知り、それにあった歌い方を考える。
2	学年末テスト	1		音楽表現の技能	・歌詞の内容を理解して歌い方を工夫し、特に強弱の生み出す効果を感じ取って歌う。
			言語活動 ・比較鑑賞することで音楽の諸要素や違いを聴き分け、ワークシートにまとめる。 ・詩や曲が作られた背景や曲にこめられた思いを知って、それにあった気持ちや歌い方を具体的に説明する。	鑑賞の能力	・鑑賞を通して、各楽器の音色や役割を感じ取り、重なり方や速度の変化など日本独自の特徴に気づく。 ・異なる場面の鑑賞比較を通して、声の感じや楽器の音色の特徴、速さ、また重なり方などに気づく。
3	○美しいハーモニーを作ろう ・卒業式の歌 ・旅立ちの日に	2	1 ハーモニーの美しさを感じ取って演奏する。 2 旋律の重なり方の種類や変化を感じ取り、歌い方を工夫する。 ・歌唱「旅立ちの日に」(テクスチュア、強弱、形式)	音楽への関心・意欲・態度	・ハーモニーの美しさを味わうために、音取りや歌練習で、パートの音を正しく歌い、他の音を聞きながら歌おうとしている。
				音楽表現の創意工夫	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取って演奏することができる。
				音楽表現の技能	・音取りや歌練習を通して、ハーモニーの美しさを味わうための美しい発声を身につけている。 ・旋律同士をの重ね方を感じ取り、あわせることに重点をおいて演奏することができる。
		3学期小計 (8) 合計 (35)	言語活動 ・器楽や合唱活動で自分の感じ取ったことを相手に伝え、よりよい演奏をするための方法を考える。	鑑賞の能力	・旋律の重なり方の種類や変化を聴き取り、それによって生まれる音楽の味わいや広がりを感じ取ることができる。
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)		・歌や合唱を多く行い、変声した声が響くような合唱作りや、生徒自身が積極的に取り組み感動できる合唱にします。 ・アルトリコーダーで簡単な曲が吹けるように継続的に取り組みます。 ・クラシックを中心とする様々な音楽の鑑賞を通して、その良さや魅力を自分で批評できるようします。 ・和楽器や伝統音楽ではゲストティーチャーを招き、本物の音楽を体験できるような機会を作ります。		
	学習上の留意点 受講上の注意		・週に1回しかない教科なので、時間を守り、忘れ物をしないように気をつけましょう。 ・心と体を使って積極的に授業に参加しましょう。周囲とのかかわりを大事にして協力して活動しましょう。 ・定期テストは単元のまとめとして広範囲の問題が出ます。少しずつ勉強しましょう。 ・時々リコーダーやレポートなどの宿題を出します。		